

不動産情報共有管理・整理システムのハイオニア

株式会社 **FJKK.COM**

ALL AREA Powered by FJKK.COM

売買不動産業者専門の業務効率向上により業績拡大を支援
売買不動産業者専門の不動産情報共有管理・整理をインターネットで
格安アウトソーシング FJKK.COM I.T. システム

- ▶ HOME
- ▶ 会社概要
- ▶ 事業背景
- ▶ **FJKKって何？**
- ▶ システム・サービス
- ▶ お問い合わせ
- ▶ リクルート
- ▶ 会員ログイン

不動産情報データベースと
連動する物件フォトサービス

- ▶ フォトサービスの特徴
- ▶ フォトサービスのシステムと費用

当社のホームページが
PDFになります。
印刷してご覧になる場
合はこちらから

PDFをご覧頂くには、
Adobe Readerが必要です。



FJKK.COM って何？

FJKKは「不動産情報共有管理」の頭文字が由来です。

運営サイト名**不動産情報共有管理**の最大の特徴は、その名の通り会員間において
不動産情報の共有化を図っていることです。

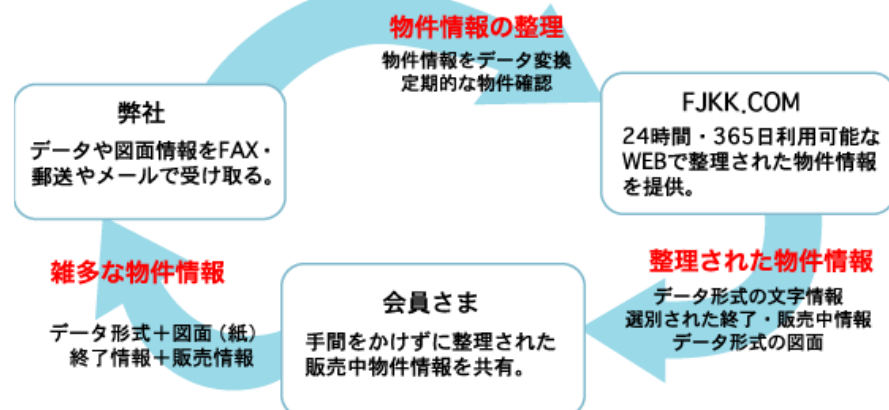
FJKKにおける物件管理アウトソーシングとは、FJKKと会員はマンツーマンの関係であり、更に会員間においては
ワンフォーオール・オールフォーワン、つまり情報を均質に共有化することになります。

更にインターネットを利用することで会員はアプリケーションの開発費等の初期投資、
その他もアップデーティング費等のランニングコスト等々、大きなコスト負担がありませんから、
会員は社内や社員間における物件情報のDB化、プラットフォーム化、ユビキタス化(※1)、
人材の即戦力化などを、簡単に進めることが出来ることとなります。

※ ユビキタス＝ユーザーがコンピュータの存在を意識することなくサービスやアプリケーションを

1. 利用できる状態をいう。

FJKK は不動産営業マンに負担がかからないシステム



1. 既存の物件情報サービスには空白時間(夜間—早朝)があるの
に対して、FJKKは24時間営業です。
(但しサーバーメンテナンス時は除きます。)



2. 販売中物件については、FJKKが会員に代わって原
則1週間に一度物件確認(有無)を行っています。
それにより、「終了物件の整理」「価格変更などの情
報更新」「商談中物件表示」が可能となりました。

3. 重複物件(ダブリ)の整理
重複物件の整理は、他有名システムもほとん
どができていないのに対し、FJKKは物件の重
複表示がほとんどされません。

そのため貴社が端末画面上で神経衰弱ゲームのようなことをされる必要はなく或いは手間のかかる電話で問い合わせをしたり、さらには同じ物件であるのに重ねて図面の請求するなどのお金と時間のかかる、旧来型情報整理はもう不要となるのです。



4. 物件固有の履歴情報管理を行っておりますので、地域間における販売スピード、価格変更時における間隔／価格幅が同時に判り、対策を講じやすくなります。

5. 図面登録率が平均約95%
第一線の営業マンにとって、物件情報はなんと言っても図面から。この取り寄せや管理に、今一番労力がかかって大変なのは、やはりその営業マンなのです。これら図面管理を FJKKにアウトソーシングすることで、営業マンを図面管理から解放させ、本来の営業業務の時間を取り戻すことが出来るようになります。

6. 図面のクリーニング作業(ファックスの耳などが表示されない、斜めにならないなど)
図面は、メールなどによるデジタル受信のほか、FAXのモデム受信(紙で印刷しない)を行っているので、受注側の劣化が最低限に押さえられています。

7. 複数図面登録も可能
「販売画面」のほかに、「測量図」「立面図」「パース」などもアウトソーシングすることが出来ます。それらは容量も軽く、瞬時に表示されるようになっています。
(原則1.5MB/物件までとしております)

8. 終了・留置き物件情報
「元付会社情報」「物件履歴情報」「図面情報」などが管理されており、査定や新規物件の事業計画を立案する上で、その重要性を発揮しています。従来の整理では、終了物件になると捨てられてしまうことが多いですが、それではマーケティングに役立ちません。FJKKを利用すれば、会員間で情報が共有され、その終了物件の情報もきちんと整理されております。

9. 物件のクリック数を、ランキング形式で表されます。
そのため、自社物件の引き合い状況や、他社物件とのアクセス量比較も容易に行えます。

10. 従来型端末を使える方、環境であれば、すぐに誰にでも使えるFJKKシステム。
つまり何か新しいソフトをインストールしたりする必要は、ありません。
インターネットをご利用いただける環境でしたら、ご利用いただけます。

[このページのトップへ▲](#)

